

授業概要

この講義では日本企業のアジアへの直接投資と現地経営について解説する。講義内容は以下の3つの部分で構成されている。一つ目は日本企業の対外投資、特に対アジア投資の歴史と位置づけを概観する。二つ目は異なった社会制度、企業文化、商慣習の環境の中で、日本的経営手法、特に人的資源管理・人材育成システムはどこまで通用し、有効なのか。これについて台湾企業の人材戦略と比較しながら、また東南アジアにおける現地従業員へのアンケート調査結果を通して、日本企業の特徴や問題点を探る。三つ目は中国進出日系企業の成功例を紹介し、その成功の秘訣を検証する。以上の内容に関連する映像資料も必要に応じて使用する。

授業計画

第1回	オリエンテーション（講義内容、講義方法、評価方法、参考書など）
第2回	日本企業の国際化と対外直接投資の契機
第3回	日本の対外直接投資の推移と特徴①
第4回	日本の対外直接投資の推移と特徴②
第5回	日系企業の経営現地化——広州本田自動車の事例（映像資料使用）
第6回	異文化の中での日本的経営① 東南アジア3カ国現地従業員の日系企業・日本人イメージ
第7回	異文化の中での日本的経営② 台湾現地従業員の日系企業・日本人イメージ
第8回	在中国内陸部日系企業の人材マネジメント——ブラザー工業の事例
第9回	在中国日系サービス企業の経営活動①——イオン・サイゼリアの事例
第10回	在中国日系サービス企業の経営活動②（ユニクロの事例）
第11回	在ベトナム台湾企業の中国人材採用戦略①
第12回	在ベトナム台湾企業の中国人材採用戦略②
第13回	BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）①——日本企業の新しい選択
第14回	BPO②——住友化学の事例
第15回	アジア日系企業のグローバル化
第16回	期末テスト

到達目標

- 1、日本の対外直接投資の歴史、投資額の地域分布が分かるようになる。
- 2、異文化の中での経営が自国内における経営とどう違うかを説明できるようになる。
- 3、経営の現地化とは何かを理解できるようになる。

履修上の注意

在アジア日系企業についての報道・記事に関心を持つこと。
無断欠席、遅刻・早退、授業中の私語・スマホ操作は厳禁する。

予習復習

予習は特に要求しないが、授業後に必ず復習すること。

評価方法

毎回授業後に提出するレポートと期末試験の成績を総合して評価する。

テキスト

テキストは特に使用しない。
講義中にプリントを配布し、講義内容に応じて参考書を適宜指示する。